

みんなで備え みんなで守る 防災リーフレット



いざという時のための 「連絡と行動」

●避難ルートの確認

災害に備え、日頃から矢掛町の避難場所を確認しておきましょう。ハザードマップを活用し、安全な避難ルートや危険な場所を把握することが大切です。また、万が一に備えて、家族で集合する場所を決めておきましょう。

●家族や友人との連絡方法

災害時に備え、家族や友人との連絡方法を事前に確認しておきましょう。電話がつながりにくい場合に備え、災害用伝言ダイヤルや災害用伝言板の使い方を覚えておくことが大切です。

避難時に注意したい場所

●矢掛町ならではの注意する場所

矢掛町は山が多い地域のため、土砂崩れに注意が必要です。特に山の近くやふもとにある家は、大雨時に早めの避難を心がけましょう。

●古い建物の倒壊に注意

矢掛町の商店街には古民家が多く、大切に保存されています。そのため地震や大雨の際は倒壊しやすく、周辺では落下物や崩れに注意です。危険を感じたら早めに避難しましょう。



防災気象情報の変更

令和8年5月下旬から防災気象情報が以下の通り一部変更されました。

対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設します。**
情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表します。

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの)住民がとるべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！>					
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル1	早期注意情報				災害への心構えを高める

水害時の足元に注意

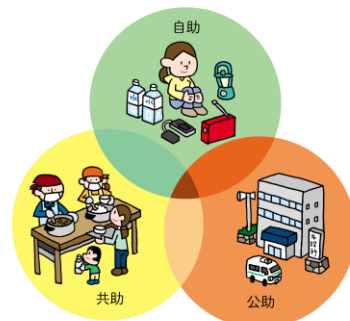
●川の氾濫に注意

小田川の近くに商店街があり、川が氾濫した場合は大変危険です。普段は落ち着いていても、氾濫時には急に水が広がる可能性があるため、早めの避難をしましょう。

●いつも歩いている地面に注意

災害時は普段の道路や歩道でも、地面が陥没する恐れがあります。見た目に変化がなくても危険な場合があるため、足元に注意し、異常があれば近づかないようにしましょう。

自助・共助について



● 自主防災組織とは

「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚や連帯感に基づいて、災害時に地域で助け合うため、自主的に結成する組織です。

● 矢掛町の補助

矢掛町は自主防災組織の活動に対して補助をしています。対象経費は防災用資機材（発電機、保存食、救助工具など）の購入費、防災訓練や講習会の開催費用などで、全額（10/10）補助 上限300,000円です。

※工事請負費、備品購入費は（8/10）

● 防災士資格とは

「自助」「共助」「協働」を掲げ、社会のさまざまな場所で防災力を高める活動を期待される民間資格です。

● 矢掛町の補助

防災士資格の取得にかかる経費を全額（10/10）補助しています。補助金額は上限63,800円。自己負担なしで取得可能です。

● 戸別受信機を貸し出しています

避難所開設情報や避難情報など、災害に関する情報が流れます。矢掛町では災害情報の確実な伝達を目的に、戸別受信機を**無料**で貸与します。取付けは電池を入れてコンセントにつなぐだけ。工事費は必要ありません。

